

Grand Cube

Business Report

グランキューブ ビジネスレポート

2018.4.1 - 2019.3.31



事業の経過及び成果

当期(第70期、2018年度)は、当社が「大阪府立国際会議場管理運営業務契約書」(2014年4月～2019年3月)に基づき、大阪府から大阪府立国際会議場の指定管理者として指定された5年間の最終年度にあたります。

当期における我が国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和政策の効果を背景に、景気は緩やかな回復基調が続いており、大阪、関西においても地震、台風等自然災害による被害があったものの、好調なインバウンド需要や雇用・所得環境の改善が続くもとで景況感に明るさが見られるようになってきています。また、2019年6月のG20サミットの大阪開催に続き、2025年大阪・関西万博の開催が決定し、さらに、IR実現への動きが具体化するなど、大阪、関西は将来の発展に向けた大きなチャンスを迎えています。

このような社会経済状況の中で、当社の主要事業であるMICE(注1)につきましても、国際的な需要の増加とその大きな経済効果が注目され、各国、各主要都市において政策的な取組みが強化されています。すでに大規模な国際会議をはじめとする大型催事の誘致は、国内はもとより国際的な都市間競争・施設間競争が激化しており、国内の他都市では積極的なMICE施設の新築・増築が行われております。

このような環境の中、当社は、従来にも増して、国際会議の誘致開催をはじめとして、様々な会議・催事の誘致に向けた積極的な営業活動を展開するとともに、施設の安全かつ適切な管理・運営に努めてまいりました。

当期に開催された国際会議は、医学系学会では「第80回日本血液学会学術集会」や「第38回日本脳神経外科コンgres総会」等が、工学系学会では「IEEE Virtual Reality」,「The 9th international Conference on Multiscale Materials Modeling(MMM2018)」等が開催されるなど多くの学術会議が開催されました。このほかにも「UNWTO(国連世界観光機関)/APTEC(アジア太平洋観光交流センター)合同シンポジウム」や「日本特殊教育学会第56回大会」等多様な国際会議が開催され、その件数は、合計で66件(数値目標60件。注2)となりました。

国内会議では、「象印マホービン100周年式典・集い」、「第42回全国身体障害者施設協議会研究大会」など大規模な式典、大会が開催されたほか、在阪企業の定時株主総会、各企業の会社説明会やセミナーさらには資格試験、講習会など、様々な会議にご利用いただきました。また、展示会、イベントでは、毎年恒例となっている書道展、大阪府吹奏楽コンクールをはじめ、メーカーや商社による展示商談会、在阪の大学や各種学校の入学式・卒業式・周年行事等が開催され、興行におきましても国内外を問わず多くの人気アーティストによるコンサートが開催されるなど、幅広い用途にご利用いただきました。

当期の運営状況は、国際会議を含む催事開催件数は1,368件であり、前期比87%、204件の減と大幅に減少しましたが、大型催事の増加により施設稼働率は72.7%と前期比0.4ポイント増加し、来館者数は1,086千人、前期比102.2%、23千人増加し、うち海外からも11千人と前期比120.5%、2千人の増加となりました。

当期の売上高は、大型の国際会議等の増加、備品利用料や催事関連収入の増加によりまして、施設利用収入は1,835,232千円となり(前期比107.2%、123,772千円の増)、売上管理手数料も95,410千円(前期比102.9%、2,692千円の増)とそれぞれ増加しました。これに、受取地代215,412千円(前期と同額)、その他収入14,113千円を加え、売上高合計額は2,160,167千円と前期比106.5%、132,764千円増加し、開業以来、最高の売上高を記録しました。

一方、営業費用では、人件費については、時間外勤務手当等が増加しましたが、従業員の退職等による減少もあり、前期とほぼ同額の277,063千円となりました。

一方、電力・ガスの総合調達により水道光熱費が216,431千円、前期比94.8%、11,857千円減少したほか、広告宣伝費12,917千円(前期比52.8%、11,534千円の減)、誘致支援費9,720千円(前期比45.3%、11,756千円の減)などが、それぞれ減少いたしました。

他方、前期に比べ増加した主なものは、メインホール調光操作卓更新や管理運営システムハードウェア更新等による機能強化費が110,656千円(前期比185.4%、50,985千円の増)と大きく増加し、また、システム更新による減価償却費11,130千円(前期比413.1%、8,436千円の増)、催事関連収入の増に伴う催事関連費用140,549千円(前期比112.5%、15,578千円の増)、修繕費98,699千円(前期比105.9%、5,487千円の増)、委託費378,044千円(前年比101.1%、4,040千円の増)などが増加しました。

この結果、営業費用合計額は2,077,325千円、前期比103.5%、70,690千円の増加となりました。なお、大阪府納付金700,000千円は前期と同額であります。

その結果、営業利益は、前期比398.9%、62,075千円増の82,842千円、これに営業外収支が、前期比109.2%、3,434千円増の40,710千円で、これを加えた経常利益は123,553千円と前期比212.9%、65,509千円増加しました。

前期は有価証券売却益12,895千円が特別利益に計上されておりましたが、当期は発生していないことから、税引前当期純利益は123,553千円となり、法人税等及び法人税等調整額を計上した結果、当期純利益は、107,772千円と前期比175.9%、46,490千円の増加となりました。

これにより、営業利益、経常利益及び当期純利益とも3年連続の黒字決算となりました。

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

(注1) MICEとは、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称であります。Mは企業等の会議(Meeting)、Iは企業等の行方報奨・研修旅行(Incentive Travel)、Cは国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、Eは展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の略であります。

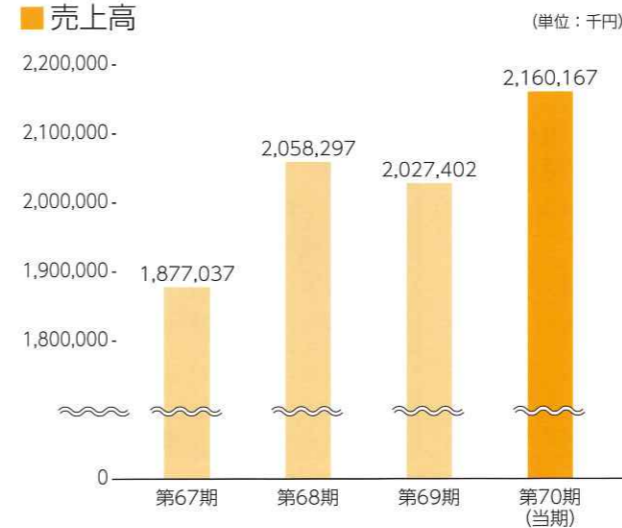
(注2) 国際会議の件数はJNTO(日本政府観光局)基準にて掲記しております。JNTO基準とは、①主催者が国際機関・国際団体または国家機関・国内団体(民間企業を除く)、②参加者総数が50名以上、③参加国が日本を含む3カ国以上を満たす会議であります。

損益の推移

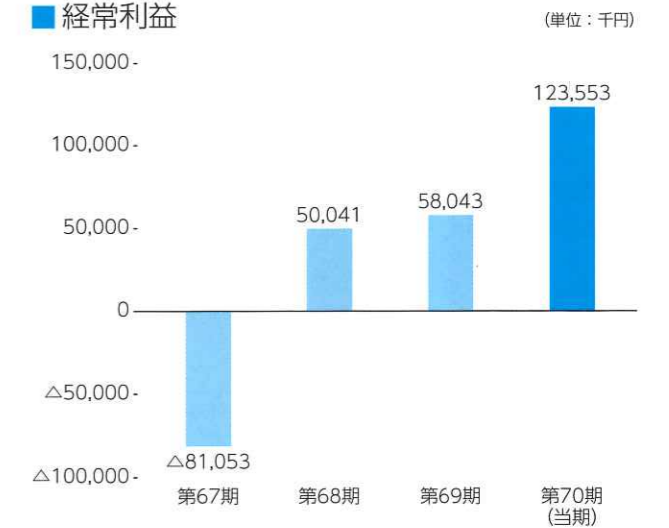
財産及び損益の状況の推移

区分	期別	第67期 2016.3月期	第68期 2017.3月期	第69期 2018.3月期	第70期(当期) 2019.3月期
売上高	(千円)	1,877,037	2,058,297	2,027,402	2,160,167
経常利益	(千円)	△81,053	50,041	58,043	123,553
当期純利益	(千円)	△80,989	72,328	61,282	107,772
1株当たり当期純利益	(円)	△67.96	60.68	51.42	90.42
総資産	(千円)	5,668,550	5,713,677	5,795,165	5,824,020
純資産	(千円)	4,327,467	4,354,138	4,375,349	4,463,150
1株当たり純資産	(円)	3,631.10	3,653.47	3,671.27	3,744.94

売上高



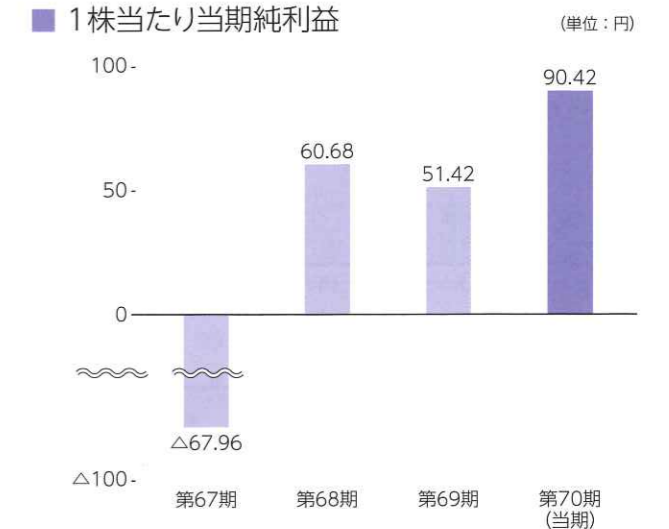
経常利益



当期純利益



1株当たり当期純利益



営業の概況

Review of Operations

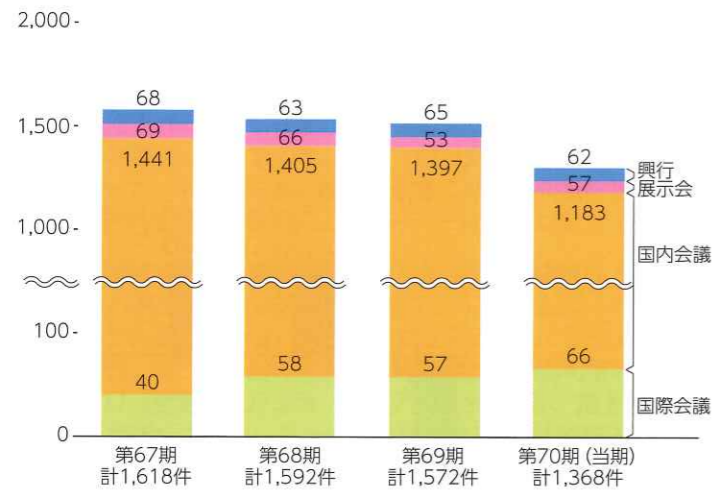
● 営業成績の内訳

(単位：千円)

項目	期別	第67期	第68期	第69期	第70期(当期)
施設利用収入		1,567,306	1,742,285	1,711,460	1,835,232
(施設利用料)		(1,138,408)	(1,222,015)	(1,195,454)	(1,261,934)
(備品利用料)		(243,070)	(265,461)	(272,788)	(301,614)
(駐車場利用料)		(30,146)	(35,407)	(31,577)	(29,615)
(催事関連収入)		(81,117)	(149,471)	(144,733)	(160,160)
(テナント)		(48,599)	(47,235)	(46,806)	(46,656)
(キャンセル)		(22,798)	(20,095)	(17,769)	(29,510)
(その他利用料)		(3,165)	(2,597)	(2,329)	(5,740)
売上管理手数料収入		93,412	93,814	92,717	95,410
受取地代収入		215,412	215,412	215,412	215,412
その他の営業収入		905	6,785	7,813	14,113
合計		1,877,037	2,058,297	2,027,402	2,160,167

● 催事利用状況

(単位：件)



● 施設の稼働率状況

(単位：%)

区分	第67期	第68期	第69期	第70期(当期)
メインホール ①	76.2	81.2	78.5	82.7
イベントホール ②	85.7	89.6	87.2	92.5
10階会議室 ③	83.8	86.2	83.7	83.5
上記平均(①~③)	81.9	85.6	83.1	86.2
特別会議場 ④	66.4	67.2	74.6	71.3
その他会議室 ⑤	59.4	61.4	63.2	63.6
全館平均(①~⑤)	69.9	72.2	72.3	72.7

(注) 上記稼働率はメンテナンス日年間24日、及び年末年始の休館日6日を控除して算出しております。

● 来館者数の推移

区分	第67期	第68期	第69期	第70期(当期)
来館者数	104万9千人	118万7千人	106万2千人	108万6千人
うち海外からの来館者数	1万2千人	2万人	9千人	11千人

財務諸表

Financial Statements

貸借対照表

(2019年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額
資産の部	
流動資産	2,708,960
現金及び預金	2,267,079
売掛金	125,363
有価証券	304,346
貯蔵品	973
前払費用	2,302
未収収益	7,459
その他	6,417
貸倒引当金	△ 4,982
固定資産	3,115,060
有形固定資産	126,417
工具、器具及び備品	4,633
土地	121,783
無形固定資産	37,336
ソフトウェア	36,960
電話加入権	366
その他	9
投資その他の資産	2,951,306
投資有価証券	2,665,962
長期預金	250,000
差入保証金	3,000
保険積立金	22,776
繰延税金資産	9,567
資産合計	5,824,020

科目	金額
負債の部	
流動負債	1,299,862
買掛金	122,851
未払費用	21,774
未払金	700,030
未払法人税等	11,790
未払事業所税	23,894
未払消費税等	13,055
前受金	383,414
預り金	6,759
賞与引当金	13,634
その他	2,657
固定負債	61,006
退職給付引当金	61,006
負債合計	1,360,869
純資産の部	
株主資本	4,421,595
資本金	600,000
利益剰余金	3,825,705
利益準備金	140,094
その他利益剰余金	3,685,610
別途積立金	3,200,000
繰越利益剰余金	485,610
自己株式	△ 4,110
評価・換算差額等	41,555
その他有価証券評価差額金	41,555
純資産合計	4,463,150
負債及び純資産合計	5,824,020

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位：千円)

科目	金額
売上高	2,160,167
売上原価	1,821,862
売上総利益	338,305
販売費及び一般管理費	255,462
営業利益	82,842
営業外収益	40,710
受取利息	36,087
その他	4,622
経常利益	123,553
税引前当期純利益	123,553
法人税、住民税及び事業税	17,004
法人税等調整額	△ 1,224
当期純利益	107,772

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

施設概要

Overview of Facility



メインホール

● 施設内容

最大2,754人までの収容が可能な大規模ホール

ステージ形態	▼エンド	2分割利用		▼フラット	▼センター
		全体利用	大ホール		
ステージ サイズ	幅	27m	27m	27m	27m
	奥行	19m	15m	4m	35m
客席数	1階席のみ	1,706	1,200	328	1,200
	1・2階席	2,754	2,248		2,248



イベントホール

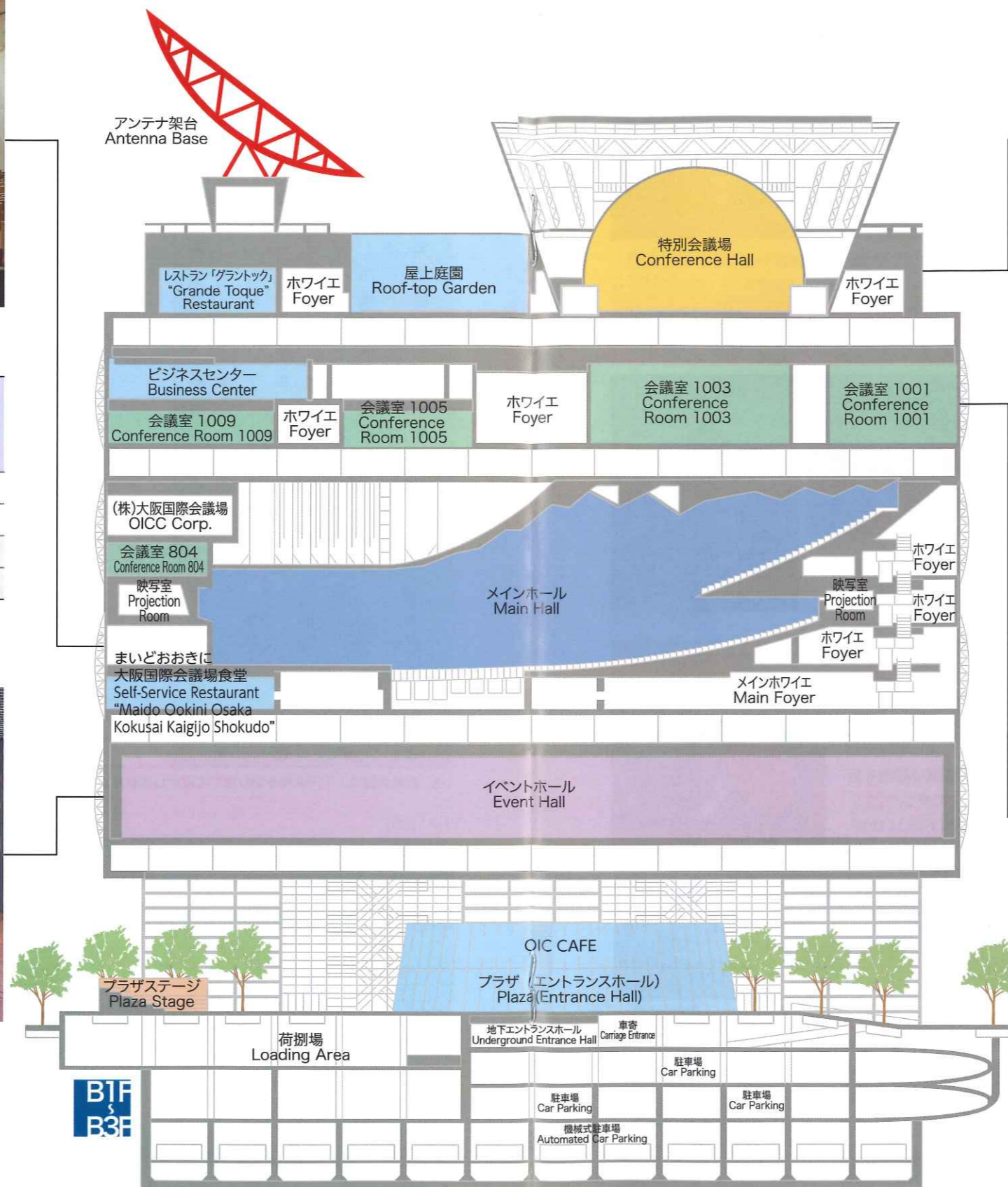
● 利用用途

・展示会 ・会議 ・イベント ・レセプション

● 施設内容

・床面積2,600㎡（2分割、3分割利用が可能）
・床荷量：1t/㎡ ・天井高：9.4m

分割形態	全体利用	分割による面積例	
利用面積	2,600㎡	1,930㎡ 1,500㎡ 1,260㎡	1,100㎡ 830㎡ 670㎡



特別会議場

● その他会議室 収容人数データ

名称	面積 (㎡)	天井高 (m)	サイズ (m)	シアター試 (人)	スクール試 (人)	口の字 (人)
特別会議場	393	4.6~16.8	直径22.4	414	198	馬蹄形 80
1201	52	3.0	7.1×7.3	50	27	24
1202	221	4.5	16.3×13.5	220	108	72
804	64	3.0	8.2×7.8	60	36	30



1001~1003号室

● 10階会議室 収容人数データ

名称	面積 (㎡)	天井高 (m)	サイズ (m)	シアター試 (人)	スクール試 (人)	口の字 (人)
1001~1003	1,010	7.7	25.5×40.3	1,044	570	—
1001~1002	366	7.7	25.2×14.4	378	216	102
1001	183	7.7	12.6×14.4	177	123	66
1002	183	7.7	12.6×14.4	180	126	66
1003	541	7.7	25.5×21.9	540	288	126
1005	101	3.0	6.9×14.5	160	63	42
1009	289	3.0	15.6×18.4	260	162	84

2018年度の主な催事

The Main Special Event of 2018

「伝統と創意」第72回日本書芸院展

2018年4月11日(水)～15日(日)

記念講演会「司馬遼太郎のことも」も併せて開催

公益社団法人日本書芸院の役員・役職者による毎春恒例の書道展です。この展覧会は日本を代表する書作家が「伝統と創意」の理念のもとに新作を出品、日頃の研鑽の成果を一堂にご覧いただくものです。50歳以下の全会員を対象にしたオーディションで選抜された鋭敏の10名が1人幅8m高さ3.6mの巨大壁面に大作を発表する「魁星作家コーナー」も併せてお楽しみいただけます。会期中にはギャラリートークや書道用品の展示・即売会などのほか、各界の著名人や書の専門家などによる記念講演会も開催しており、今回は東大阪市の司馬遼太郎記念館館長の上村洋行先生に「司馬遼太郎のことも」と題してお話をいただき、大変好評でした。
(公益社団法人日本書芸院 理事長 黒田 賢一)



茶道教養講座第500回記念特別講演会

2018年9月2日(日)

裏千家鵬雲斎千玄室大宗匠の特別講演会を開催しました

茶道の学びを深める場として毎月開催している「茶道教養講座」が第500回目を迎えるのを記念いたしまして、式典ならびに裏千家前家元・鵬雲斎千玄室大宗匠をお招きしての特別講演会を開催いたしました。



会場となった3階イベントホールには750名ほどのお客様が来られました。広い会場の後方からも良くご覧いただけるように、大スクリーンを備えて舞台の様子を映しました。またご来場の皆様にお菓子と抹茶をふるまう呈茶席を隣接して設けました。大きな空間をゆったりと使わせていただき、記念行事を盛会に終えることができました。
(茶道裏千家淡交会大阪四青年部連合会 会長 長谷川 幸則)

第66回日本心臓病学会学術集会

2018年9月7日(金)～9日(日)

全国の心臓病に携わる医療関係者が大阪に集結

第66回日本心臓病学会学術集会は、「心臓病学をケースに学ぶ、エビデンスに学ぶ」というテーマのもと開催いたしました。初心者においてはケースを通じてエビデンスを学ぶことによって理解が深まることが期待される一方、エビデンスからはずれたケースを学ぶことはより質の高い診療を行うにあたって重要ではないかと思ひ、このようなテーマといたしました。このテーマに基づく「ケースに学ぶ」セッションをはじめ、様々なプログラムを多数企画いたしました。3日間で約3,000名の方にご参加いただき、各講演会場で活発な議論を繰り広げいただきました。



(第66回日本心臓病学会学術集会 会長 兵庫医科大学 内科学講座 循環器内科 主任教授 増山 理)



International Fan Festival Osaka 2018

2018年10月6日(土)・7日(日)

日本初！逆輸入型ジャパニアアニメイベント

「ファン目線」を大切に企画・開催され、日本からも数多くのファンが集結するカナダ最大級のアニメイベント「Anime Revolution」(アニメレボリューション)がおくる新感覚のアニメイベント：International Fan Festival Osaka 2018 (IFF) IFFでも「ファン目線」をモットーに、日本では開催されたことがなかった、ファン必見の【体験型】コンテンツの数々をお送りします。IFFは、今まで体験したことがないほど近い！日本初の逆輸入型アニメイベントです。



(AMCGN International Fan Festival株式会社 松本 阿里香)

計測展2018 OSAKA

2018年11月7日(水)～9日(金)

未来のものづくり社会を支える計測・制御技術の総合展“未来を創る”

計測展OSAKAでは、地域特性を生かした企画の強化により、関西から未来を共創(つく)る出会いの場、つながる場を提供します。また、聞いて見て体感できる企画を用意しております。

<見どころ・聞きどころ>

70社・団体168小間が出展、セミナーセッション数：60以上、来場予定数：15,000人。

最新の計測・制御技術製品とソリューションの紹介。「工場設備とIoT」、「AIと自動運転、自動化技術」のテーマを軸に産学官によるセミナーと「ビジネス創出マッチングイベント」の開催。出展者による最新技術・製品セミナーの実施。EV車主要部品の展示。「情報系学生」・「メカエ業界で働く女性」向けのガイド付ブース見学ツアーなど。

詳しくは⇒ <https://jemima.osaka/>

(一般社団法人 日本電気計測器工業会 計測展2018 OSAKA主催事務局)



第9回材料のマルチスケールモデリングに関する国際会議 (MMM2018)

2018年10月28日(日)～11月2日(金)

Toward the next twenty years, opening new era in Multiscale Materials Modeling

この会議は、材料の強度や変形・機能について、電子論から連続体力学までスケールを跨ぐ材料のマルチスケールモデリングに関する国際会議です。当初、ヨーロッパと米国の2地域で2年毎に開催し、2002年のイギリスで第1回開催の後、2012年にアジアでの開催が加わり、その6年後の今年にようやく日本開催となりました。

7件の基調講演、15の多岐にわたるシンポジウムでの招待講演、ポスターを含めた一般講演の申し込み数は740件を超えました。欧米諸国からの参加は全体の52%を超え、世界の38カ国に及ぶ会議となります。この国際会議を通じて、当該学術分野の活性化と若手人材の育成の機会にしたいと考えています。

(大阪大学 大学院工学研究科 副理事・教授 渋谷 陽二)



2018年度に行われた主なコンサート

- 2018年 4月
- 5月
- 6月
- 7月
- 8月
- 9月
- 10月
- 11月
- 12月
- 2019年 1月
- 2月
- 3月

- ・WOORYOUNG (From 2PM) SOLO CONCERT "EN?CALL! in Japan 2018/4/10
- ・松山千春コンサート・ツアー2018 「弾き語り」 2018/5/15
- ・Austin Mahone JAPAN TOUR 2018 2018/5/30
- ・第29回朝日作曲賞・第11回全日本吹奏楽連盟作曲コン本選会 2018/6/7
- ・TUBE LIVE AROUND 2018 ～燦々・晴レルヤ! Yeah! Yeah! Yeah!～ 2018/7/15
- ・GReeeeNと不思議のももがたり～おこしにつけたきびだんご～ 2018/7/29
- ・THE RAMPAGE LIVE TOUR 2017-2018 "GO ON THE RAMPAGE"THE FINAL 2018/8/13
- ・和楽器バンド TOUR 2018 音ノ回廊 -oto no kairou- 2018/9/1
- ・おーいお茶 ゆず「フレッシュLIVE」 2018/10/1
- ・HIDEAKI TOKUNAGA CINCERT TOUR 2018「永久の果てに」 2018/10/7
- ・きゃりーぱみゅぱみゅ JAPAMYU HALL TOUR 2018「星屑のCHERRY MARTINI」 2018/10/27
- ・藤井フミヤ 35th ANNIVERSARY TOUR 2018 "35 Years of Love" 2018/11/23
- ・日医工 presents 葉加瀬太郎 コンサートツアー 2018 ALL TIME BEST 2018/12/29
- ・倅田来未KODA KUMI LIVE TOUR 2018～DNA～開幕! /COUNTDOWN EDITION 2018/12/30
- ・UNO MISAKO LIVE TOUR 2018-2019 "First love" 2019/1/13
- ・FT ISLAND FAN Meeting "THE PRIMA TV SHOW starring FTISLAND" 2019/2/11
- ・Shuta Sueyoshi LIVE TOUR 2019 -WONDER HACK- 2019/3/2
- ・OSAKA Prix 全国クラシックバレエ・コンペティション2019 2019/3/26



トピックス～お客様に喜んでいただくために～

Topics

施設・設備の改修・機能向上

▶▶ 2018年度にはお客様に安全・快適にご利用いただくため、次のリニューアルを行いました。

メインホール調光操作卓・スクリーンの更新

開館以来使用してきたメインホール主調光操作卓、副調光操作卓及び舞台袖照明操作盤を更新しました。制御回路数が4倍（4,096回路）、制御チャンネル数、記憶シーンが倍増（2,048チャンネル、2,000シーン）という大幅な機能向上を実現し、ご利用いただく皆様の多様化、高度化するニーズに対応いたします。

また、高輝度プロジェクターの導入（2016年度）、デジタル回線への更新（2017年度）とあわせて、高品位な映像システムを実現しました。



屋上庭園の美装工事

12階屋上庭園の美装工事を行い、お客様の目にこれまで以上に楽しい空間としました。



▶▶ 2019年度以降もさらなるリニューアルを行ってまいります。

お客様の満足度向上のための取組

レーザー光源プロジェクターの導入

12,000ルーメン及び10,000ルーメンのレーザー光源プロジェクターを導入し、圧倒的な高画質と長時間の安定運用を実現しました。



メインホールホワイエのカーペットの貼替え

故黒川紀章氏の設計思想を踏まえた快適で近代的な内装にリフレッシュいたしました。



中之島通側名称看板設置

あみだ池筋への設置にあわせ、中之島通りにも名称看板を設置しました。



中之島通り西側花壇設置

中之島通りに花壇を設置し憩いとやすらぎの空間を演出しました。



地域社会との共生のための取組

▶▶ 2018年度には以下の取り組みを行いました。

5月のゴールデンウィークに中之島バンクスにおいて、家族、カップル向けの「中之島リバーフェスタ」を近隣企業とともに初めて開催しました。

8月のお盆には、夏休みの子ども応援企画として、小学生を対象に「館内ガイドツアー」を初めて開催しました。また、同じく8月には恒例となった「中之島なつまつり」を近隣企業とともに共催し、7,400名もの参加をいただきました。

10月には昨年に引き続き「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」に参加し、オリジナルパンフレットの作成・配布、ガイドツアー・こどもツアーの実施など、地域の賑わいづくりに努めました。



企業データ

Enterprise Data

会社概要

(2019年3月31日現在)

商号	株式会社 大阪国際会議場 (英文社名 Osaka International Convention Center Corp.)
設立	昭和33年8月9日 (Aug9.1958)
資本金	6億円 (授權資本金 10億円)
従業員数	35名
所在地	〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番51号 TEL: (06)4803-5555(代)
主要な事業内容	1. 国際会議及び国内会議並びに文化、学術、芸術等各種催物の企画、誘致及び開催 2. 内外商品等の見本市及び展示会の企画、誘致及び開催 3. 大阪府立国際会議場の会議施設及び展示場並びにこれらに附帯する施設、設備機器、備品等の賃貸及び管理運営並びに駐車場、飲食店の管理運営 4. 旅行業法に基づく旅行業
会社の沿革	1958年8月 株式会社大阪国際貿易センター設立。(当社の前身) 大阪国際貿易センターを建設・管理運営するため、大阪府及び関西経済界の共同出資による第三セクター。 1960年4月 大阪国際貿易センターが開設。 我が国初の総合商品常設展示場・催し物会場として現地にオープン。その後35か年にわたり、輸向け商品の常設展示、紹介事業を通じて、大阪の産業貿易振興に貢献。 1994年1月 府立国際会議場の建設が決定。 現地に、新たに第一級の国際会議が可能なコンベンション施設を府立で建設することを、府、市、関経連及び大商の四者合意。 1994年6月 当社が新たに建設される府立国際会議場の管理運営を受託することに決定。 1998年9月 商号を、株式会社大阪国際会議場に変更。 2000年4月 大阪府立国際会議場がオープン。 開業以来現在まで15年にわたり、大阪府立国際会議場の管理運営を受託。 2006年4月 指定管理者制度が導入され、当社が指定管理者として当国際会議場の管理運営業務を実施。 2014年4月 新たに2018年度までの5年間、当社が指定管理者として、当国際会議場の管理運営業務を開始。 2019年4月 新たに2028年度までの10年間、当社が指定管理者として、当国際会議場の管理運営業務を開始。

役員

(2019年3月31日現在)

代表取締役社長	福島 伸一	取締役	岡本 圭司	取締役	松下 正幸
専務取締役	谷 真明	取締役	加藤 好文	取締役	村尾 和俊
常務取締役	辻川 雅芳	取締役	桑田 政美	常勤監査役	吉野 孝義
取締役	新井 純	取締役	寺田 千代乃	監査役	伊藤 雄二郎
取締役	新居 勇子	取締役	中野 星子	監査役	岡村 裕
取締役	井上 礼之	取締役	古川 実	監査役	冲原 隆宗

株式データ

Stock Data

株式の状況

(2019年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 2,000,000株
- 発行済株式総数 1,200,000株
(うち、自己株式数 8,220株)
- 株主数 259名
(自己名義株式保有の当社を含む)

●大株主

株主名	持株数	持株比率
大阪府	千株 600	% 50.34
株式会社三菱UFJ銀行	34	2.85
株式会社三井住友銀行	28	2.36
日立造船株式会社	28	2.35
株式会社みずほ銀行	24	2.01
関西電力株式会社	23	1.95
株式会社本郷会計	22	1.89
株式会社りそな銀行	22	1.85
株式会社クボタ	20	1.69
パナソニック株式会社	20	1.68

(注) 持株比率は発行済株式総数から自己株式数を除いて算出しております。

●所有者別状況

区分	政府及び地方公共団体	金融機関	証券会社	その他の法人	外国法人等(うち個人)	個人・その他	合計
株主数	1名	13名	2名	221名	0名	22名	259名
所有株式数	600,000株	130,520株	4,000株	444,560株	0株	20,920株	1,200,000株
発行済株式総数に対する割合	50.0%	10.9%	0.3%	37.0%	0.0%	1.8%	100.0%

(注) 自己株式8,220株は「個人・その他」に含まれております。

●所有株数別状況

区分	500千株以上	100千株以上	50千株以上	10千株以上	5千株以上	1千株以上	1千株未満	合計
株主数	1名	0名	0名	15名	13名	91名	139名	259名
株主総数に対する割合	0.4%	0.0%	0.0%	5.8%	5.0%	35.1%	53.7%	100.0%
所有株式数	600,000株	0株	0株	291,940株	85,520株	189,380株	33,160株	1,200,000株



発行

株式会社 **大阪国際会議場**

OSAKA INTERNATIONAL CONVENTION CENTER CORP.

〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番51号

Tel.06(4803)5555(代表) Fax.06(4803)5620

OSAKA INTERNATIONAL CONVENTION CENTER CORP.

5-3-51 NAKANOSHIMA, KITAKU, OSAKA, 530-0005, JAPAN

Phone:06(4803)5555 Fax:06(4803)5620

<http://www.gco.co.jp/>

